

### 【3】浅口市での生活について

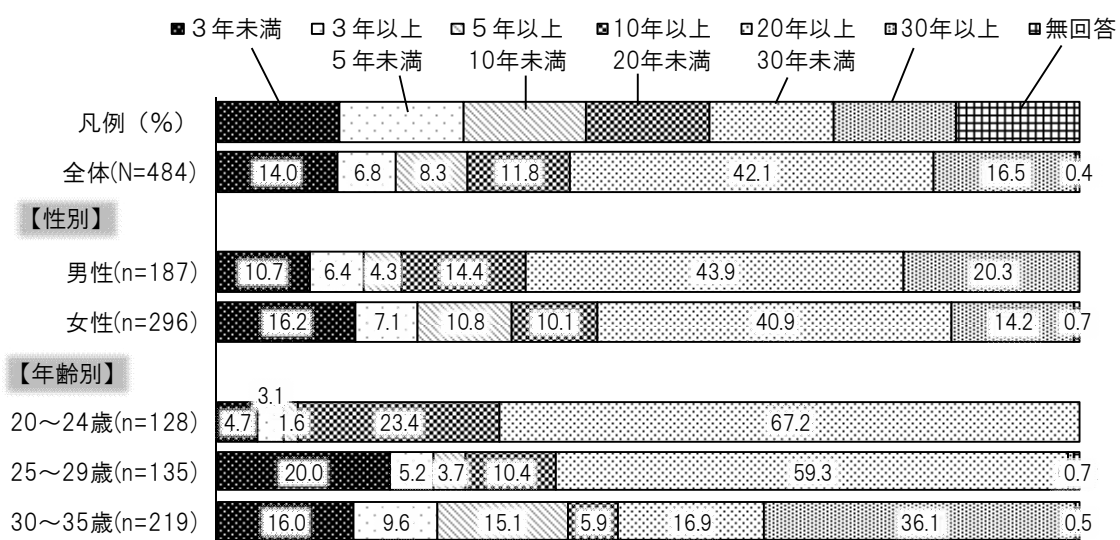
#### 1. 浅口市での居住年数（問 19）

問 19. あなたは浅口市に住んで合計何年になりますか。（○印1つ）

浅口市での居住年数は、全体では「20年以上30年未満」の割合が42.1%と最も高く、以下「30年以上」（16.5%）、「3年未満」（14.0%）の順となっている。『20年未満』は合計で40.9%、『20年以上』は合計で58.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べて長期間居住者が多い。

年齢別では、25歳以上の年齢層で「3年未満」の割合が比較的高くなっている。



## 2. 浅口市での永住状況について

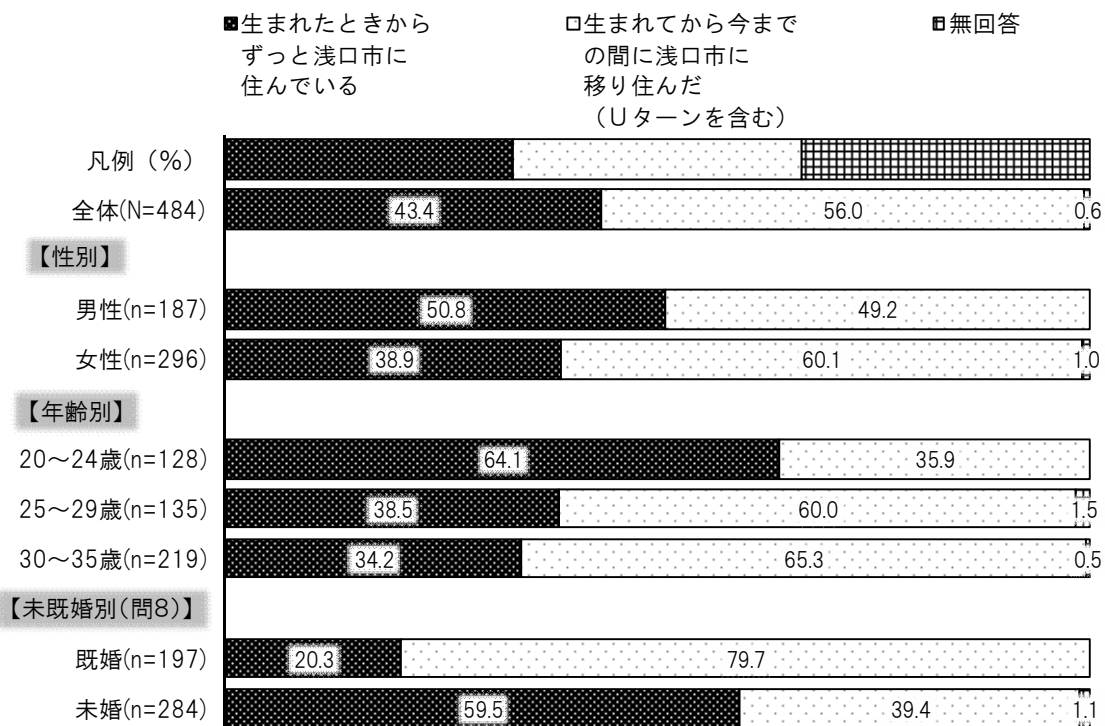
### (1) 浅口市での永住状況 (問 20)

問 20. あなたは、生まれたときからずっと浅口市に住んでいますか。(○印1つ)

浅口市での永住状況を見ると、全体では「生まれたときからずっと浅口市に住んでいる」(永住者)が43.4%、「生まれてから今までの間に浅口市に移り住んだ(Uターンを含む)」(移住者)が56.0%であり、移住者の割合が高い。

性別では、男性は約半数が永住者であるが、女性は約6割が移住者である。

また、25歳以上のおおむね6割以上、既婚者の約8割が移住者である。

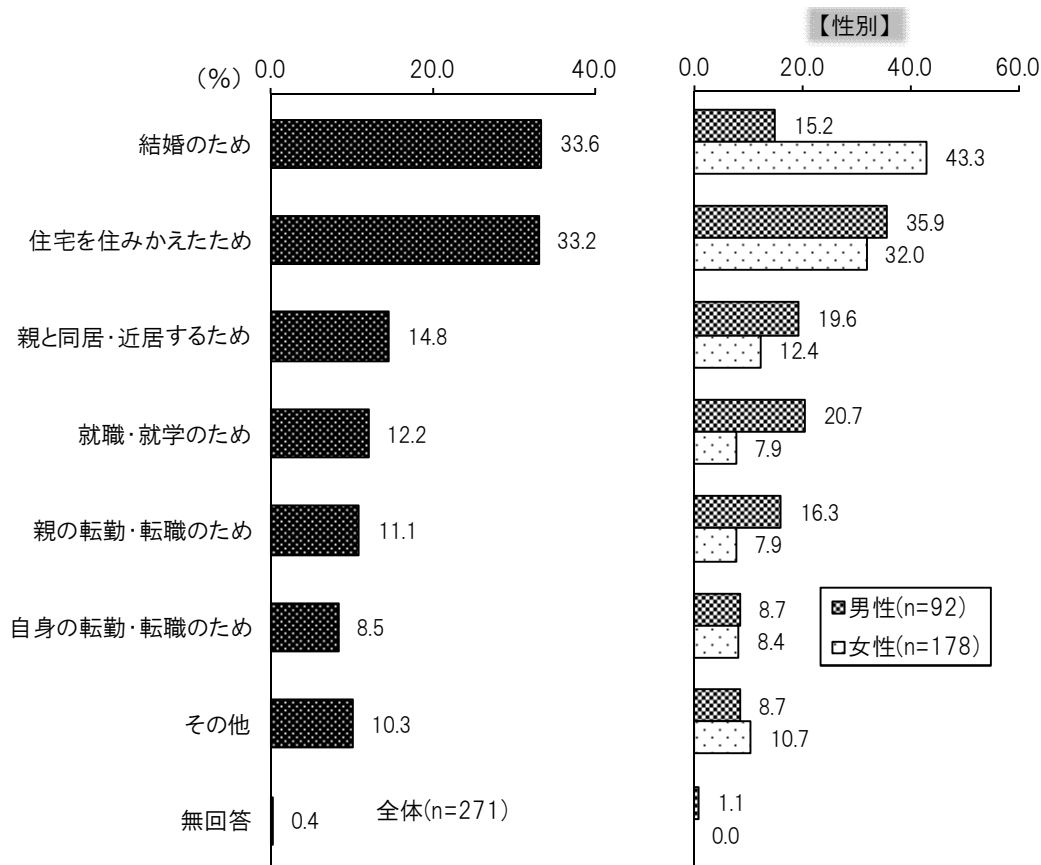


## (2) 浅口市に移住した主なきっかけ（問 21）

問 21.（問 20 で 2 と回答した方に）あなたが、浅口市に移り住んだ主なきっかけはどのようなことですか。（○印 3 つまで）

移住者における浅口市に移住した主なきっかけをみると、「結婚のため」の割合が 33.6%と最も高く、ほぼ並んで「住宅を住みかえたため」（33.2%）が続いている。以下「親と同居・近居するため」（14.8%）、「就職・就学のため」（12.2%）、「親の転勤・転職のため」（11.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「親と同居・近居するため」「就職・就学のため」「親の転勤・転職のため」を理由とする割合が高く、女性は「結婚のため」という理由が、男性の割合を大きく上回っており、性別差が目立っている。

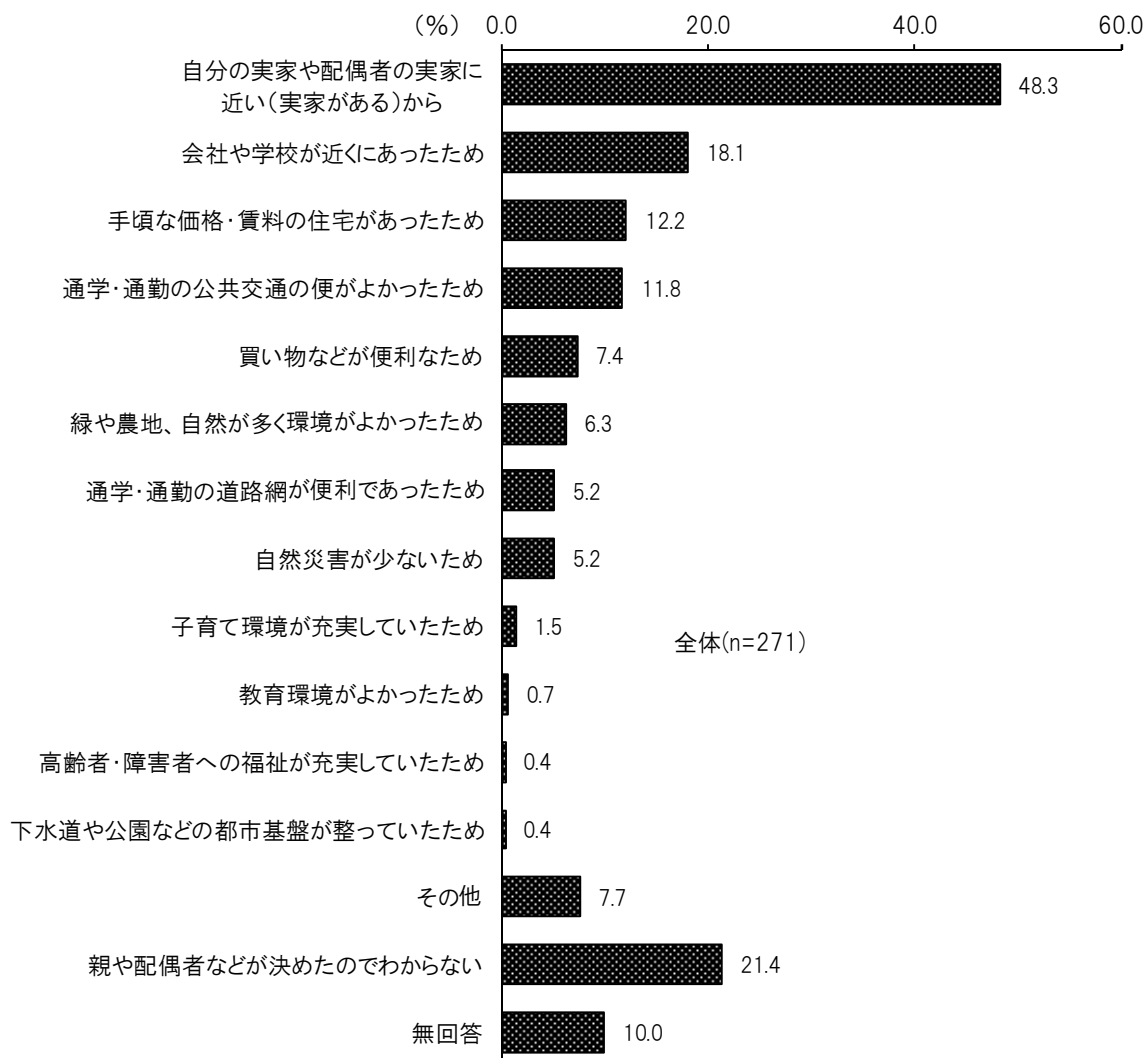


### (3) 浅口市を選ぶ際に考慮した点 (問 22)

問 22. (問 20 で 2 と回答した方に) あなたが、お住まいとして浅口市を選ぶ際に、主にどのようなことを考慮しましたか。(○印 3 つまで)

浅口市を選ぶ際に考慮した点を見ると、「自分の実家や配偶者の実家に近い(実家がある)から」の割合が 48.3%と最も高く、突出している。次いで「会社や学校が近くにあったため」(18.1%)、「手頃な価格・賃料の住宅があったため」(12.2%)、「通学・通勤の公共交通の便がよかったため」(11.8%)の順となっている。

なお、「親や配偶者などが決めたのでわからない」が、およそ 5 人に 1 人の割合(21.4%)で回答された。



年齢別でみると、特に 20～24 歳の年齢層では、他の年齢層に比べ「親や配偶者などが決めたのでわからない」の割合が高くなっている。

また、25 歳以上の年齢層では「自分の実家や配偶者の実家に近い(実家がある)から」、30～35 歳では「会社や学校が近くにあったため」「手頃な価格・賃料の住宅があったため」などが高く、年齢による差が目立っている。

	に自 分の 実家 や配 偶者 の 実家 か ら	会 社 や 学 校 が 近 く に あ っ た た め	手 頃 な 価 格 ・ 賃 料 の 住 宅 が あ っ た た め	通 学 ・ 通 勤 の 公 共 交 通 の 便 が よ か っ た た め	買 い 物 な ど が 便 利 な た め	緑 や 農 地 、 自 然 が 多 く 環 境 が よ か っ た た め	通 学 ・ 通 勤 の 道 路 網 が 便 利 な た め	自 然 災 害 が 少 な い た め	子 育 て 環 境 が 充 実 し て い た た め	教 育 環 境 が よ か っ た た め	高 齢 者 ・ 障 害 者 へ の 福 祉 が 充 実 し て い た た め	下 水 道 や 公 園 な ど の 都 市 基 盤 が 整 っ て い た た め	そ の 他	親 や 配 偶 者 な ど が 決 め た の で わ か ら な い
全体(n=271)	48.3	18.1	12.2	11.8	7.4	6.3	5.2	5.2	1.5	0.7	0.4	0.4	7.7	21.4
年齢別														
20～24歳(n=46)	28.3	6.5	4.3	8.7	4.3	8.7	2.2	8.7	0.0	0.0	2.2	0.0	4.3	39.1
25～29歳(n=81)	54.3	16.0	8.6	9.9	7.4	6.2	6.2	7.4	2.5	1.2	0.0	0.0	6.2	19.8
30～35歳(n=143)	51.0	22.4	16.8	13.3	8.4	5.6	5.6	2.8	1.4	0.7	0.0	0.7	9.8	16.8

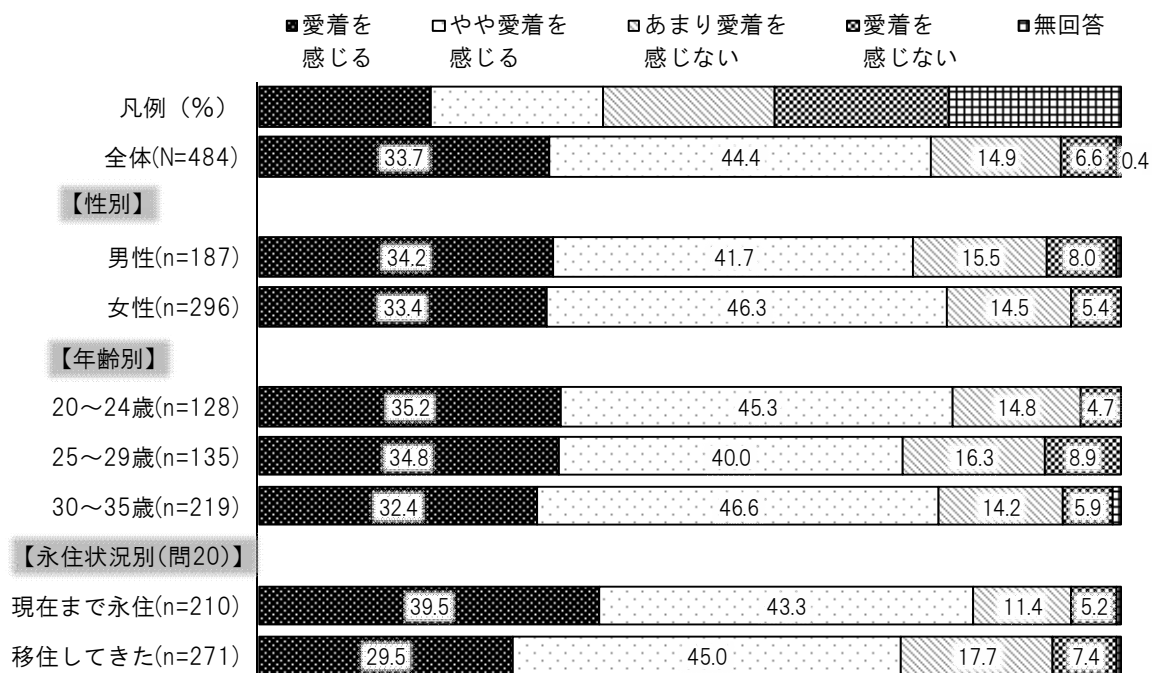
### 3. 浅口市への愛着度（問 23）

問 23. あなたは、浅口市に、どの程度愛着を感じますか。（○印1つ）

浅口市への愛着度をみると、全体では「愛着を感じる」が 33.7%、「やや愛着を感じる」が 44.4%で、合計 8 割近く（78.1%）が『愛着を感じる』と意識している。『愛着を感じない（合計）』は 21.5%であった。

性別、年齢別ともに大きな差は目立たない。

また、永住者ほど愛着度は高い傾向にあるが、移住者でも 7 割以上が愛着を感じている。



#### 4. 浅口市の暮らしやすさ（問24）

問24. あなたは、浅口市は、暮らしやすいまちだと思いますか。（○印1つ）

浅口市の暮らしやすさをみると、全体では「暮らしやすい」が27.7%、「どちらかといえば暮らしやすい」が51.7%で、合計約8割（79.4%）が『暮らしやすい』と意識している。『暮らしにくい（合計）』は20.2%であった。

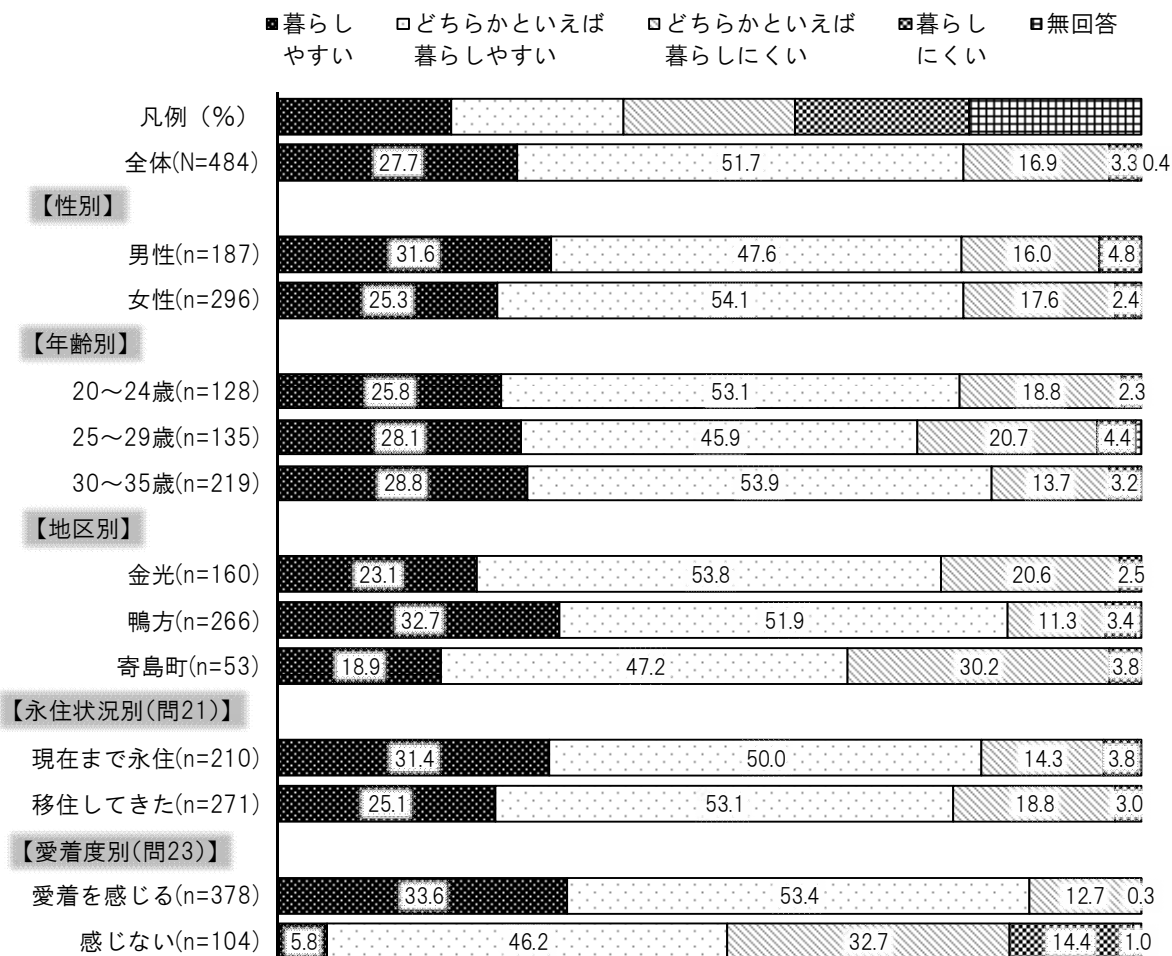
性別では、男性で「暮らしやすい」の割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

年齢別では、25～29歳において『暮らしにくい（合計）』がやや高いが、大きな差は目立たない。

地区別でみると、鴨方地区で『暮らしやすい（合計）』が他の地区を上回っている。

また、永住者ほど『暮らしやすい』意識は高い傾向にあるが、移住者でも8割近くが『暮らしやすい』と感じている。

浅口市への愛着度別でみると、愛着を感じる層ほど『暮らしやすい』意識が高く、愛着を感じない層との差が目立っている。



## 5. 浅口市への今後の居留意向（問 25）

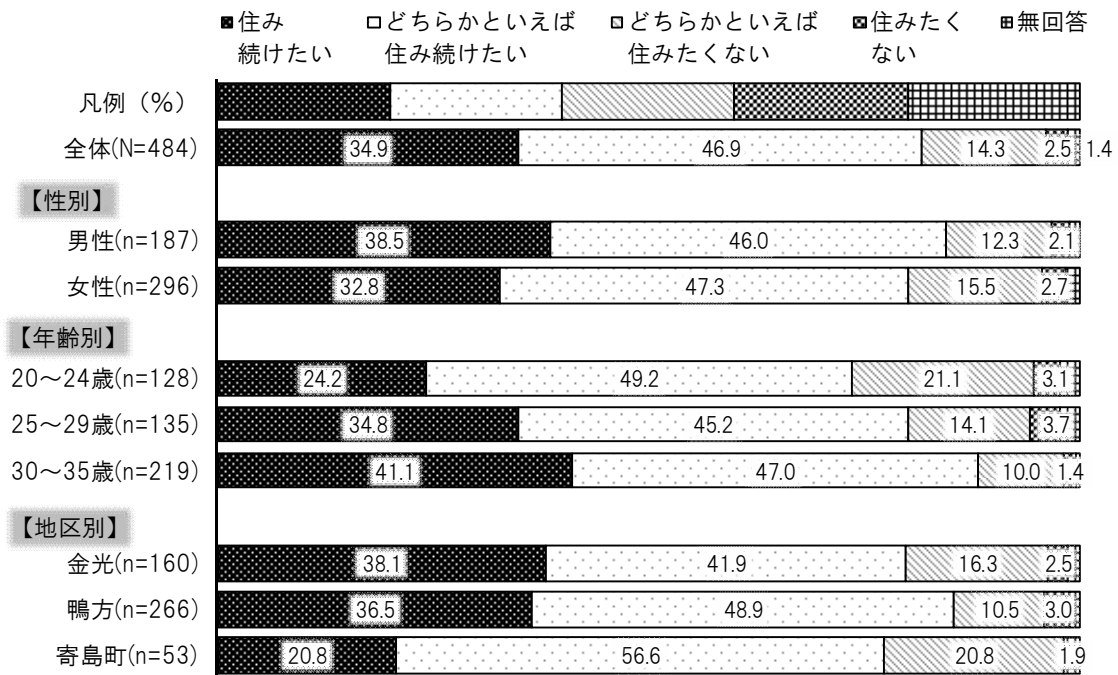
問 25. あなたは、これからも浅口市に住み続けたいと思いますか。（○印1つ）

浅口市への今後の居留意向をみると、全体では「住み続けたい」が 34.9%、「どちらかといえば住み続けたい」が 46.9%で、合計 8 割以上（81.8%）が『住み続けたい』と意識している。『住みたくない（合計）』は 16.8%であった。

性別では、男性で「住み続けたい」回答がやや女性を上回るが、大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるほど「住み続けたい」も増える傾向にある。

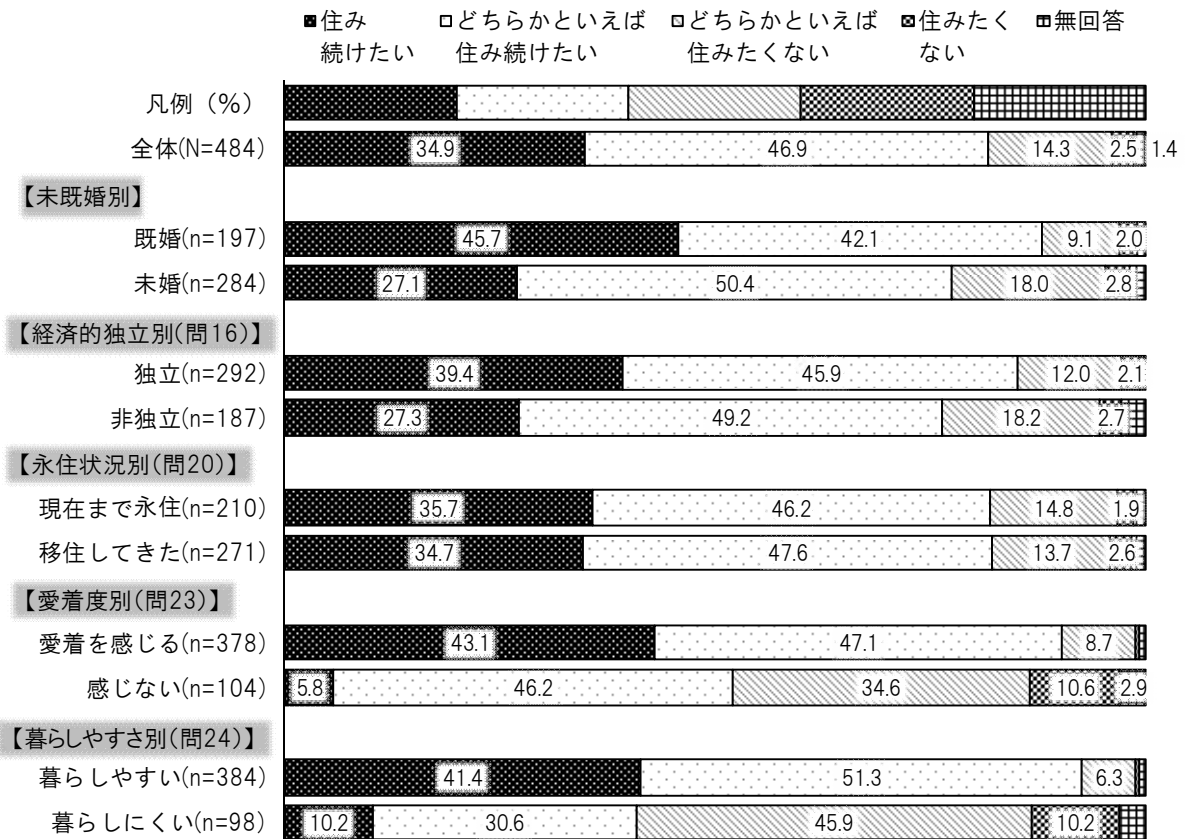
地区別では、金光地区、鴨方地区居住者で「住み続けたい」割合が高くなっている。





未既婚別では既婚者ほど、また、経済的に独立している人ほど「住み続けたい」意識が高い。

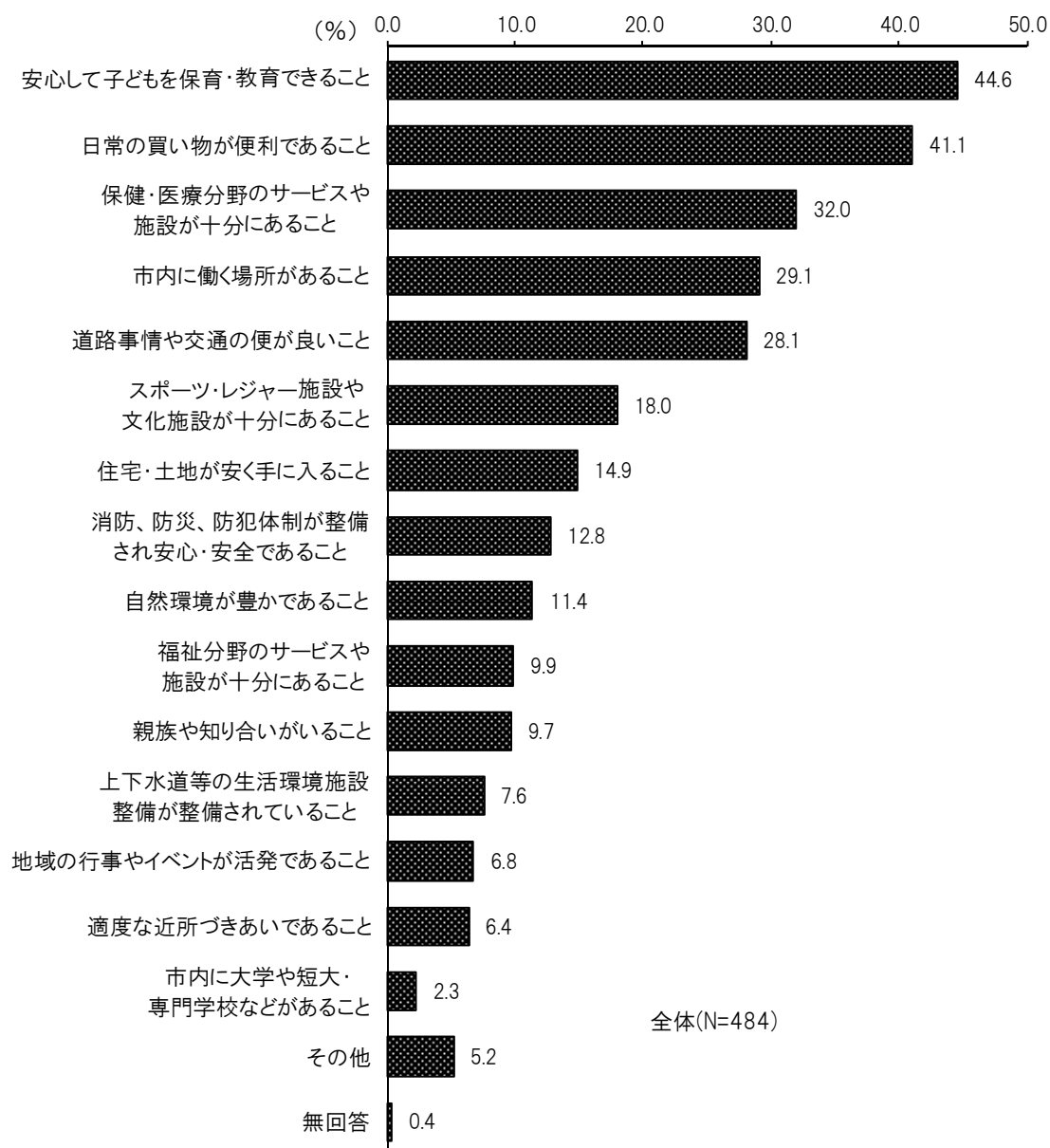
永住者と移住者では大きな意識差は目立たないが、浅口市に愛着を感じる人、また、暮らしやすいと感じる人ほど「住み続けたい」意識も高い傾向にある。



## 6. 浅口市に住み続けたいと思うために必要なこと（問 26）

問 26. あなたは、浅口市がどのような「まち」になれば住み続けたいと思いますか。  
（○印3つまで）

浅口市に住み続けたいと思うために必要なこととしては、「安心して子どもを保育・教育できること」の割合が44.6%と最も高く、次いで「日常の買い物が便利であること」（41.1%）が続いており、以下「保健・医療分野のサービスや施設が十分にあること」（32.0%）、「市内に働く場所があること」（29.1%）、「道路事情や交通の便が良いこと」（28.1%）の順となっており、子育て支援や日常の買い物、保健・医療の充実などが求められている。



性別でみると、男性は女性に比べ「スポーツ・レジャー施設や文化施設が十分にあること」の割合が高く、女性は「安心して子どもを保育・教育できること」や「保健・医療分野のサービスや施設が十分にあること」などで男性を大きく上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど割合が高い項目として「道路事情や交通の便が良いこと」や「スポーツ・レジャー施設や文化施設が十分にあること」などがあげられ、年齢が上がるほど高い項目として「安心して子どもを保育・教育できること」などがあげられる。

地区別では、特に寄島町において「日常の買い物が便利であること」「道路事情や交通の便が良いこと」などが他の地区を大きく上回っている。

		育安心して教育できることを保	で日常の買い物が便利	分サ保健・医療分野の十	る市内と働く場所があ	が道路事情や交通の便	分施設や文化施設が十	に住宅・土地が安く手	安制消防、防災、防犯・体
	全体(N=484)	44.6	41.1	32.0	29.1	28.1	18.0	14.9	12.8
性別	男性(n=187)	32.6	40.6	26.2	27.3	31.0	26.7	17.1	11.8
	女性(n=296)	52.0	41.6	35.8	30.4	26.4	12.5	13.5	13.5
年齢別	20～24歳(n=128)	32.8	39.8	17.2	27.3	39.8	23.4	20.3	10.9
	25～29歳(n=135)	44.4	45.2	32.6	32.6	26.7	17.8	12.6	14.1
	30～35歳(n=219)	51.1	39.7	40.2	27.9	22.4	14.2	13.2	13.2
地区別	金光(n=160)	49.4	46.3	28.1	28.8	25.0	21.9	15.0	13.1
	鴨方(n=266)	45.5	36.1	34.2	28.9	22.9	16.2	15.0	13.5
	寄島町(n=53)	30.2	50.9	32.1	30.2	60.4	17.0	13.2	7.5

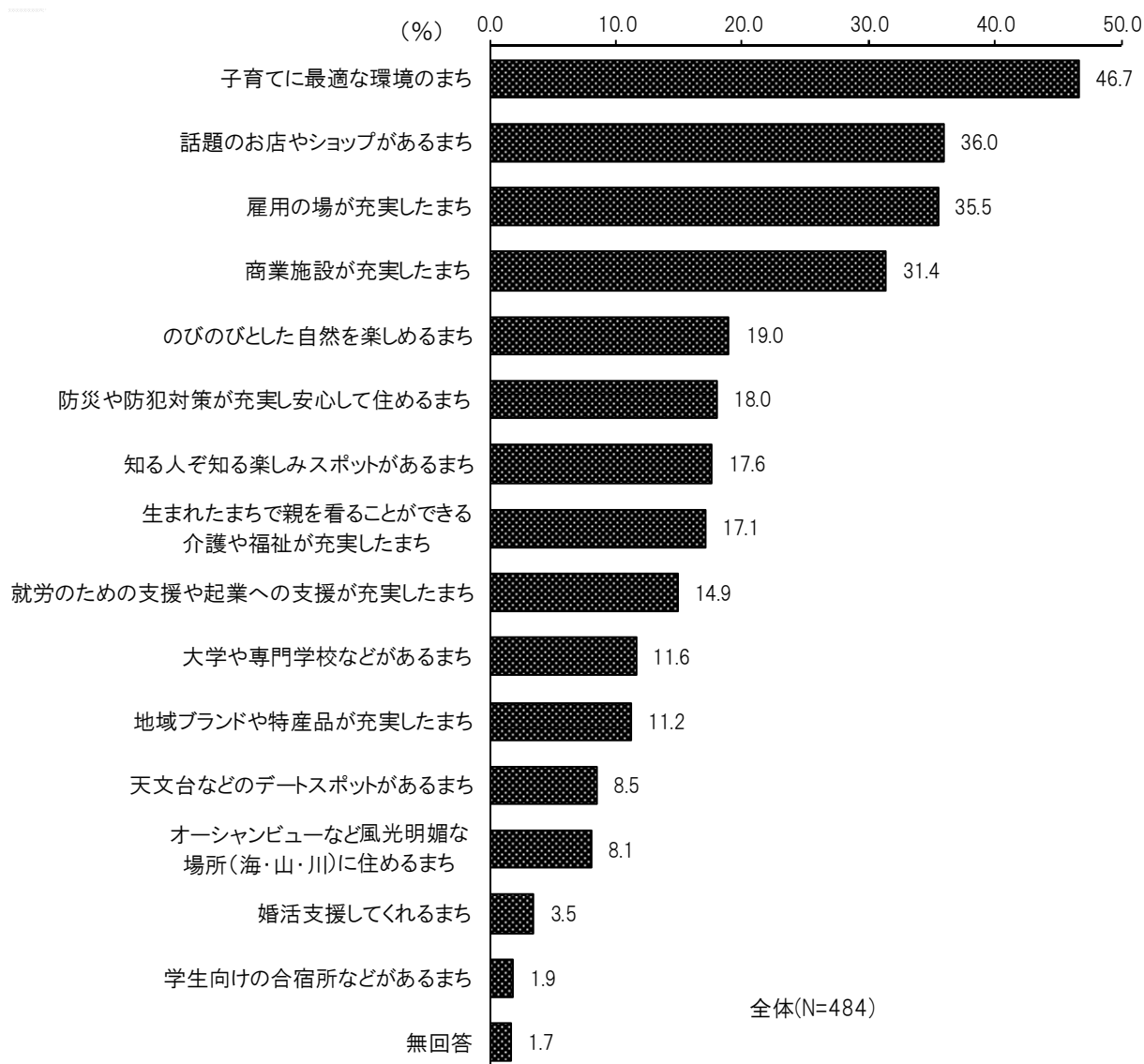
		る自然環境が豊かであ	こや福祉分野の十にあビ	る親族や知り合いがい	れ境上て施下い設水この整生備活さ環	ト地が活の発事であるイベ	で適度な近所づきあい	こ専門に大学や短大	その他
	全体(N=484)	11.4	9.9	9.7	7.6	6.8	6.4	2.3	5.2
性別	男性(n=187)	13.4	8.0	8.0	7.5	9.6	7.0	3.2	5.3
	女性(n=296)	10.1	11.1	10.8	7.8	5.1	6.1	1.7	4.7
年齢別	20～24歳(n=128)	17.2	7.0	10.2	7.0	11.7	5.5	2.3	3.9
	25～29歳(n=135)	7.4	11.1	5.9	10.4	5.9	5.9	2.2	6.7
	30～35歳(n=219)	10.5	11.0	11.9	6.4	4.6	7.3	2.3	5.0
地区別	金光(n=160)	7.5	6.3	10.6	10.0	5.6	7.5	0.6	4.4
	鴨方(n=266)	12.0	12.4	9.8	6.4	7.5	6.4	3.8	6.4
	寄島町(n=53)	18.9	9.4	5.7	7.5	5.7	3.8	0.0	1.9

## 7. 今後、浅口市に必要なイメージ（問 27）

問 27. 第 1 回あさくち未来づくり会議<sup>注</sup>の中で、「若者がいきいきと暮らすまち」になるためには、どのようなイメージが必要か尋ねたところ、次のようなイメージがあげられました。これらのイメージの中で、あなたが共感を持つのはどれですか。上位 3 つを選んでお答えください。（○印 3 つまで）

注：平成 26 年 11 月 2 日に、市内に居住する若い世代の皆さんに集まっていただき、浅口市が今後、「若者がいきいきと暮らすまち」になるためにはどのような取り組みが必要か、というテーマで様々な意見を聞くために開催した会議。

今後、浅口市に必要なイメージとしては、「子育てに最適な環境のまち」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「話題のお店やショップがあるまち」（36.0%）、「雇用の場が充実したまち」（35.5%）、「商業施設が充実したまち」（31.4%）の順となっており、子育てや買い物、良好な雇用環境などが意識されている。



## 8. あさくち未来づくり会議への参加意向（問 30）

問 30. 浅口市では、今後、若者ワークショップ「あさくち未来づくり会議」の開催を予定しています。「あさくち未来づくり会議」とは、市内に居住する若い世代の皆さんに集まっていただき、浅口市が今後、「若者がいきいきと暮らすまち」になるためにはどのような取り組みが必要か、というテーマで様々なご意見をいただく場です。あなたは、このワークショップにどの程度参加してみたいと思いますか。  
 (○印1つ)

あさくち未来づくり会議への参加意向をみると、全体では「是非参加したい」が2.9%、「できれば参加したい」が27.1%で、合計30.0%が『参加したい』と回答している。

『参加したい（合計）』割合は、性別では男性、年齢別では20～24歳で高くなっている

